

基本項目記入数 25

チャレンジ項目記入数 17

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																		
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17		
環境	22	【環境汚染予防】 ・廃棄物や有害化学物質の適切な管理、及び処理に取り組んでいる。	●		・工場に廃棄BOXを設置し、段ボール・ビニール類・金属等、適切に分別を行っている。 ・環境汚染対策に関する講習会等に参加し、最新の情報を収集している。			3.9		6.3				11.6	12.4		14.1	15.1						
	23	【エネルギー】 ・電力やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、その削減に取り組んでいる。	●		・事務所にLED照明を設置し、節電に取り組んでいる。・【予定】2026年10月までに、自社のエネルギー使用量を把握し、削減に取り組む。としていたが実務に追われ使用量の把握までできていない。							7.3					13							
	24	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる。	●		・営業車両にHV車を導入し、重機については排ガス対策型を使用している。・【予定】2026年10月までに、簡易計算シートを使って自社の温室効果ガスの排出量を把握し、削減に取り組む。としていたが実務に追われ排出量の把握までには至っていない。		2.4					7.2 7.3 7.a			12.4	13	14	15						
	25	【生物多様性】 ・自社活動が環境(生物多様性や生態系等)に悪影響を及ぼさないように配慮している。	●		・現場で排出される廃棄物を適切に分別し、再生資源化施設へ持ち込むことで、環境に及ぼす悪影響を最小限に留めている。						6.6							14	15					
	26	【効率的な資源利用】 ・ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制(リデュース)、再利用(リユース)、再生利用(リサイクル)に取り組んでいる。	●		・金属類、段ボールはリサイクル回収所に持ち込んでいる。・碎石やアスファルト合材は再生材を優先的に使用・提案を行い、リサイクルの推進に取り組んでいる。									9.4		12.2 12.4 12.5		14.1	15					
	27	【水の管理】 ・熊本の水資源の質と量の保全に取り組んでいる。	●		・アスファルト切断時に発生する汚水、汚泥を回収し、処理業者へ持ち込むことで水質汚染を防止している。		2.4				6.1 6.3 6.4 6.6 6.b				11.5			14.1 14.2 14.3	15			17		
	28	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる(グリーン購入、リサイクル製品認証等)。	●		・事務所では再生紙を利用し、その他備品についてもグリーン購入を意識して行っている。機器等に関しては交換時期を見据えて判断したいと考えている。									9.4		12.4 12.5	13	14	15					
	29	【食品ロスの削減】 食品ロスの削減に取り組んでいる。	●				1	2			6.4						12.3		14	15			17	
	30	【緑の保全管理】 ・壁面緑化や植栽など緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。	●		・事務所周辺に植栽や花壇を設置する等、積極的な緑の創出に取り組んでいる。 ・現場には花を植えたプランターを設置している。											11.6 11.7		13.1 13.3		15			17	
	31	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー使用率の改善または再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる。	●		・太陽光発電を設置し、再生エネルギーの供給に取り組んでいる。 ・事務所は全てLED照明を導入しており、個人住宅建設においても全てLED照明を提案している。							7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.5		13.1 13.3						
	32	【森林資源の循環利用に向けた取組み】 ・“伐って、使って、植えて、育てる”の持続的な森林利用への取組みを推進している。	●		・球磨地域林業・木材産業振興協議会に参加し「次世代につながる球磨の森づくりルールについて」を承認しこれに基づいて行動している。						6			9.4		11.3 11.4 11.5	12.2	13		15				
	33	【植林等の取組み】 ・植林等の森林整備活動に取り組んでいる。	●		・球磨地域林業・木材産業振興協議会に参加し「次世代につながる球磨の森づくりルールについて」を承認しこれに基づいて行動している。						6.1 6.3 6.6					11.3 11.4 11.5	12.2	13		15				
	34	【海洋ごみ】 ・環境中で分解しにくいプラスチックの使用削減等、海洋ごみ、海洋汚染の防止削減に貢献している。	●		・廃プラスチックを適切に分別し、リサイクル回収所へ持ち込むことで海洋汚染の防止に貢献している。												12.2 12.5		14					
	35	【環境に配慮した交通手段】 ・電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車や水素自動車などの環境にやさしい自動車の使用を促進している。	●											9.4		11.2		13.1 13.3						
36	【2050年CO2排出量実質ゼロへの取組み】 ・2050年CO2排出実質ゼロを目指し、計画的にCO2削減に取り組んでいる。	●										7.1 7.2 7.3 7.a	9.4		11.6 11.a	12.8	13					17.2		

